

大野 岳

教育目標 「ふるさとを愛し 志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和4年12月6日発行 文責 校長 大島 和子

◎ 「自分もまわりも自分らしく生きる」

～人権週間に寄せて

9年生の総合的な学習の時間のテーマは、「自分も周りも自分らしく生きる」です。自分を知り、他者を理解することで自分らしく生きることが出来ます。9年生はこれまでに、高齢者に携わる方や聴覚障害者の方など様々な立場の方の講話で他者理解を深め、自分がどうあるべきかを考えています。

人間が人間らしく生きる権利が「人権」です。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定めています。いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別など、様々な人権問題が依然として存在していると言われます。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、「誰か」の問題ではなく、自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。自分らしく生きるためお互いを知り、その多様性を認め支え合うことの必要性について、9年生が南波多郷学館を先導して学習を深めてくれることを願っています。

また、豊かな人権感覚を身に付けることなどを目的とした「第41回全国中学生人権作文コンテスト佐賀県大会」において、9年生のI・Aさんが奨励賞に入賞しました。おめでとうございます。



◎ 南ばたピカリン☆大作戦 ～地域清掃ふれ合い活動～



<活動のようす>

11月18日（金）に児童生徒会の美化委員会が企画した「南ばたピカリン☆大作戦」が行われました。この活動は、1年生から9年生までが一緒に活動することや地域の方とふれ合うことを目的に、昨年度までの地域清掃活動をバージョンアップして行われました。当日は天候にも恵まれ、登校前の約20分を地域の方と一緒に各公民館

周辺のごみ拾いを行いました。

活動の振り返りでは、「真剣にごみを拾うことができ



た。」「地域の方と一緒に活動することができてよかった。」などの感想がありました。また、「地域の方ともう少しふれ合いができれば。」「あいさつを大きな声でしたい。」などの反省もありました。

企画した美化委員会委員長のH・Kさんは、「成功です。目的が達成されました。来年はもう少し長く活動できたらと思います。」と振り返っていました。

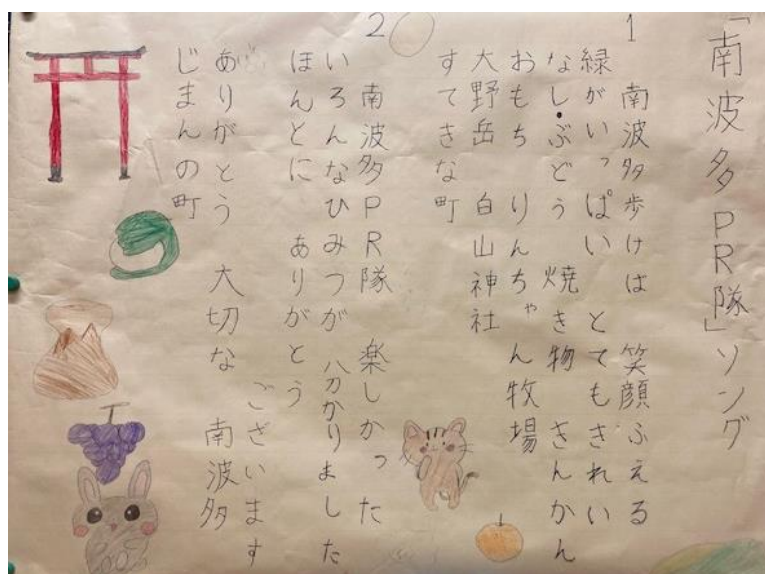
今年度初めての活動でしたので、課題もあったことと思いますが、子供たちの思いに応えてくださいました福寿会、区長会、民生委員等地域の皆様、保護者の皆様、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

◎ 4年生「お礼の会」開催～南波多PR隊～

4年生の総合的な学習の時間の活動として「南波多PR隊」があり、1学期より活動に取り組んできました。先日、インタビュー調査でお世話になった方をお招きしての「お礼の会」が行われました。自分たちが調査したことを発表したり、お招きした方に感謝状や手作りの花束を



<発表のようす>



<4年生が考えた南波多PR隊ソング>

お渡ししたりする会でした。4年生は、リハーサルも含め、熱心に準備して当日に臨んでいました。その会の中で披露されたのが、「南波多PR隊」ソングです。4年生が自分たちで作詞をした歌です。子供たちの“ふるさと”に対する思いがあふれている内容に感動しました。

「ありがとう 大切な 南波多 じまんの町」素晴らしい歌詞です。

◎ 教育長表敬訪問～佐賀県文学賞受賞者～

先日発表された、佐賀県文学賞の入賞者3名（8年Y・Mさん、6年M・Rさん、K・Iさん）が、伊万里市教育委員会教育長を表敬訪問しました。教育長から、「川柳を考えるのは楽しいですか。」「どれくらい時間がかかりますか。」などの質問があり、「楽しい。」「3分ほどでできます。」などと答えていました。本校の川柳は、南波多中学校の時から14年間続いている活動です。現在、岩永先生、松本先生にご指導いただき、昨日は4年生の入門講座も行っていただきました。一つ一つの言葉がもつ魅力にふれ、17文字の定型の中に思いを込める素晴らしい活動だと思います。今後も、子供たちが感性を磨き、言葉を紡いでいってほしいと思います。

表敬訪問の様子は、伊万里市報の1月号に掲載予定です。